

子育て支援事業の最大手 JP ホールディングス（証券コード 2749）

保育園でお正月にちなんだ園行事を開催 こどもたちに五感を伴う実体験を提供、豊かな感性を育む

子育て支援事業最大手 JP ホールディングスグループのグループ企業である日本保育サービスが運営する保育園では、季節や文化を感じることが出来る行事を取り入れており、五感を使った様々な実体験を積み重ねることでこどもたちの豊かな感性を高め、思考力・創造力を育む保育を実践しています。12月から1月にかけては、多くの保育園でお正月にちなんだ行事が行われました。

◆餅つき体験や干支の紹介を通じて興味の芽を育む◆

株式会社日本保育サービスが運営するアスク下小田中保育園（神奈川県川崎市）では、2020年12月18日（金）に保育園行事の一環として、「おもちつき大会」を実施しました。当日は園庭に杵と臼を用意し、職員が手伝いながら、園児たちが順番に餅つきを体験しました。初めて餅つきを体験した園児もあり、想像していたよりも重い杵や、粘り気のある餅に驚いていました。保育室に戻った後も餅つきの印象が強く残ったのか、園児たちは「お餅は何からできるの?」「何でお水をつけるの?」と興味深そうに職員に質問していました。



【力を合わせてお餅つき】



【杵の重さにびっくり!】

また、同社が運営するアスク利府保育園（宮城県宮城郡）では、2021年1月5日（火）に、「新春お祝い会」を開催しました。元気いっぱいの「あけましておめでとう」の挨拶で始まったお祝い会では、職員が手作りのマグネットシアターで「十二支のおはなし」を紹介しました。園児たちは、知っている動物が出てくると、「今年は『うし』だよね」「僕は『ねずみ』年!」と盛り上がっていました。ホールで行われた餅つきでは、4、5歳児が順番に1人ずつ餅つきを体験しました。自分の番が近づくと緊張している園児もいましたが、つきたての餅を目の前に「お餅の良いにおいがする!」と喜ぶ様子が見られました。降園時には、職員が手作りした獅子舞と鏡餅の飾り物を見ながら、迎えに来た保護者と園児が楽しそうに会話する様子も見られ、園全体でお正月の風物詩を楽しみました。



【マグネットシアターで干支を楽しく紹介】



【獅子舞と鏡餅の飾り物】

JP ホールディングスグループは、今後も季節の行事や文化を取り入れながら、五感を使った様々な実体験を通じて豊かな感性を高める機会を提供することで、こどもたちの思考力・創造力を育む保育を実践してまいります。

■株式会社 JP ホールディングスについて■

保育園・学童クラブ・児童館の運営を主軸に事業を展開している子育て支援の最大手企業（東証 1 部上場・証券コード 2749）です。運営施設数はグループ全体で 303 施設となります（2020 年 4 月 1 日現在）。傘下に全国で保育園・学童クラブ・児童館を運営する株式会社日本保育サービスと株式会社アメニティライフ、保育園向け給食の請負などを行う株式会社ジェイキッチン、子育て支援施設向け英語・体操・リトミック教室を請け負う株式会社ジェイキャスト、保育関連用品の企画・販売などを行う株式会社ジェイ・プランニング販売、保育や発達支援に関する研修・研究・コンサルティングなどを行う株式会社日本保育総合研究所などがあります。

詳細はこちら（<https://www.jp-holdings.co.jp/>）をご覧ください。

【報道各位からの問い合わせ先】

株式会社JPホールディングス 東京本部

広報 IR 部 都志・牛田・筒場

TEL：03-6433-9515 FAX：03-6455-8032

MAIL：jphd_pr@jp-holdings.co.jp

<https://www.jp-holdings.co.jp/>